

学習指導案

日 時	令和7年11月7日（金）第6限目	クラス		指導者	
教科（科目）	デザイン実践	単元名	第3章 ビジュアルデザイン		
本時の位置	第1節 ビジュアルデザインの概要 第2節 第2 構成要素とは（140時間中75時間目）				
本時の目標	視覚伝達記号の名称、定義、社会における役割、表現方法を理解し作品制作に繋げる。				
学習活動に即した単元の評価規準	知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c		
	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な表現をするために、効果的に生かす技能と知識を身に付けている。 ・これまでの学習の知識を活かし、定められた条件を満たす発想ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせて自然や身のまわりのデザイン、造形、美術作品などのよさや美しさを感じ取り、主題を生成し、表現を構想する。 ・アイデアスケッチを行い、新しいデザインを導き出す方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業時に、筆記具を机上に準備し、定められた席に座る。 ・ノートをきちんと書き、後に使いやすくまとめる。 ・主体的にプレゼンテーションを行う。 		
時間【過程】	ねらい	学習活動 （・は教師の活動）		評価規準	評価方法 （助言指導）
導入 5分	作品制作の基礎となる座学であることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・座学から発表までの流れの説明 		知識・A	机間指導をしながら、声掛けをする ノートが取れているか確認する
展開 35分	視覚伝達記号の名称や定義、社会における役割、表現方法を理解する。	「サイン」、「シンボル」、「マーク」、「ロゴタイプ」について <ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・パワーポイントで使用例を挙げる ・各自タブレットで他の使用例を調べる ネットがつながりにくい生徒は近くの席の生徒に見せてもらうよう声をかけ、机間指導しながら確認する。 ・板書 			
まとめ 10分		<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめを行う。 次回、実習授業の説明。 下書き、本紙の描き方、道具、発表の仕方（MetaMoji）の指示 			